

お役立ち情報

～鹿児島県農業で活用いただきたい新品種・新技術～

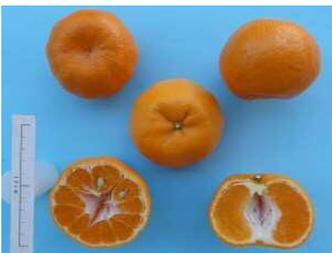
本県育成のポンカン「KP-2」

背景

秋季の高温等による着色遅れが課題となる中、着色が早く、年内出荷が可能な早生ポンカンを育成した

特性

- ◆ガンマ線を照射した「太田ポンカン」種子の珠心胚実生から、着色の早い「KP-2」を育成
- ◆樹勢は中～やや強、樹姿はやや直立、隔年結果性は低い
- ◆着色時期は「太田ポンカン」より早い
- ◆果実重190g程度、糖度10.5度、クエン酸0.7%程度、す上がりは少ない



着色の早いポンカン「KP-2」

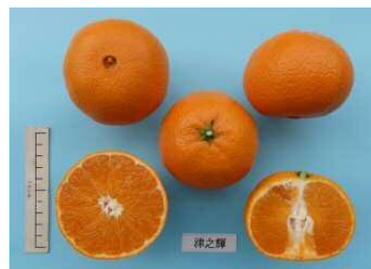
年内出荷可能な「津之輝」

背景

「津之輝」の年内出荷を目指した無加温ハウス栽培における特性を明らかにした

特性

- ◆無加温ハウス栽培では、開花期は4月上旬、収穫期は12月上旬
- ◆糖度10～12度、クエン酸0.7～1.0%、中心階級2L～3L
- ◆奄美地域では露地栽培で、12月出荷が可能



年内出荷が可能な「津之輝」

ビワ早生品種「BN21号」

背景

長崎県等との共同研究により、5月上旬に露地栽培で出荷できるビワの早生品種を育成した

特性

- ◆「BN21号」の成熟期は「長崎早生」と同時期の早生品種
- ◆果実は60g程度で、「長崎早生」より大きい
- ◆ひび果発生は、「長崎早生」より少ない



ビワ早生品種「BN21号」

奄美地域に適した青果用野菜パパイア品種特性

背景

奄美地域の露地栽培に適した青果用野菜パパイアの品種特性を明らかにした

特性

- ◆「農友一号」、「オキテング25号」、「レッドレディー」の収量は「台農2号」よりも多い
- ◆「レッドレディー」は、果形が丸く商品性が高く、主幹長が短い
- ◆「台農2号」は、500gに達する前に着色するため、青果用に適さない



「レッドレディー」



加温ハウス栽培「大将季」 汚れ果症の発生抑制と薬剤防除

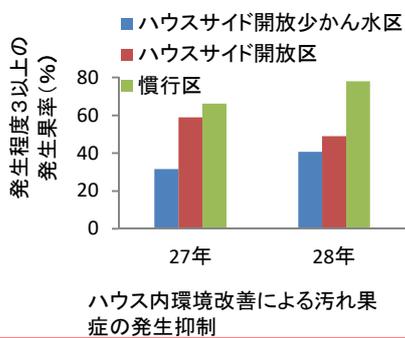
背景

発生抑制

加温ハウス栽培「大将季」の汚れ果症に対して、ハウス内環境改善による発生抑制効果を明らかにした

技術ポイント

- ◆ハウスサイド開放・少かん水区では、慣行区より、実用上問題となる汚れ果症(発生程度3以上)の発生を約30%抑制できる
- ◆6月の加温停止後のハウスサイド開放と、6~7月の少かん水で、汚れ果症の発生抑制効果大きい



背景

薬剤防除

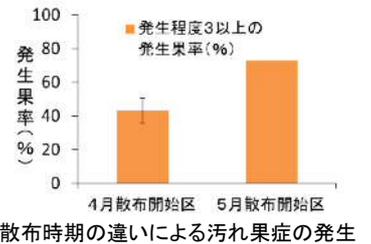
加温ハウス栽培「大将季」の汚れ果症に対して、ジマンダイセン水和剤の効果的な散布時期を明らかにした

技術ポイント

- ◆4月散布開始区では、5月散布開始区より、実用上問題となる汚れ果症の発生果率が少ない
- ◆ジマンダイセン水和剤の4月下旬からの散布開始により、汚れ果症発生を軽減できる



汚れ果症:発生程度3



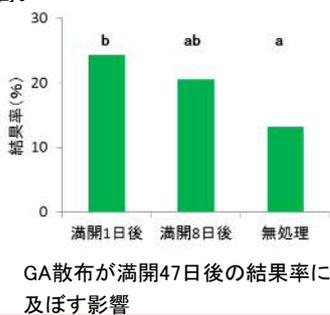
無加温ハウス栽培「大将季」 GA散布による生理落果の軽減

背景

無加温ハウス栽培「大将季」における、開花期のジベレリン(GA)散布による生理落果の軽減効果を明らかにした

技術ポイント

- ◆満開1日後、8日後のGA散布は、生理落果を軽減するが、満開直後の散布は、より効果が高い
- ◆GAの濃度は25ppmでも50ppmでも、効果に差はない
- ◆有葉花数が不足するなど結果不足が予想される場合にGA散布する



施設栽培マンゴー 秋冬季のミカンコナカイガラムシ寄生場所

背景

施設栽培マンゴーにおける、秋冬季のミカンコナカイガラムシの寄生場所を明らかにした

技術ポイント

- ◆秋冬季の施設マンゴーにおいて、ミカンコナカイガラムシは、せん定後に発生した葉、緑枝に寄生し、旧枝には寄生しない
- ◆ミカンコナカイガラムシは、葉の裏側、中ろく沿いに寄生する
- ◆齢別には、2, 3齢幼虫の占有率が高い



ミカンコナカイガラムシの寄生

GA1回処理による「クインニーナ」の品質向上

背景

「クインニーナ」の種無し栽培において、ジベレリン(GA)1回処理による品質向上対策を明らかにした

技術ポイント

- ◆満開0~3日後にフルメット液剤(CPPU)5ppmを加用、または満開3~5日後にCPPU10ppmを加用してGA1回処理する
- ◆GA1回処理ではGA2回処理に比べて、着色が良好で、糖度の高い果房が生産できる



上から、GA1回(CPPU5ppm), GA1回(CPPU10ppm), GA2回

背景

ニホンナシ「凜夏」で発生する、果肉の維管束褐変の要因と軽減策を明らかにした

技術ポイント

- ◆「凜夏」の果肉の維管束褐変は、収穫時には発生しない
- ◆果肉の維管束褐変は、低温貯蔵中に発生するが、25℃程度の常温貯蔵では発生しない
- ◆果肉の維管束褐変は、収穫終期の果実で発生しやすいので、地色4を目安に適期収穫する



5℃貯蔵 25℃貯蔵

【お問い合わせ先】

農業開発総合センター企画調整部(TEL 099-245-1119)・果樹・花き部(TEL 099-245-1138)・大島支場(TEL 0997-52-3545)・生産環境部(TEL 099-245-1155)